

科目名	肢体不自由者教育の理論と実際【社福】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	利 光 恵						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	「肢体不自由教育（２年次）」を受け、肢体不自由教育の基本とその対象について概観し、その教育課程の一つである「自立活動」、さらに「自立活動」や日常的な子どもの指導でよく活用されている理論・方法の一つである「動作法」について概説する。「動作法」については通常の授業時間内に実習を行ったり、通常の時間外に学内および学外の実践活動への参加を行ったりし、理論の表面的な理解に留まらないようにする。 受講者が特別支援学校教員として発揮することのできる専門性を身につけることが目的となる。						
授 業 の 到達目標	1) 肢体不自由者教育の基本的な内容について説明することができる。 2) 肢体不自由者教育の対象となる児童生徒の特徴・特性に応じた指導の工夫について説明できる。 3) 肢体不自由者教育における職業教育・進路指導について説明することができる。 4) 肢体不自由者教育の教育課程の類型について説明することができる。 5) 自立活動について説明することができる。 6) 動作法の考え方について理解し説明することができる。 7) 自立活動において動作法がどのように活用できるか説明することができる。 8) 肢体不自由者教育において情報機器がどのように活用されるか説明することができる。 9) 動作法について関心を持つようになる。 10) 肢体不自由者教育において動作法がどのように活用されるかについて関心を持つようになる。						
学習方法	講義（演習的な課題、実技的な課題もあります。）						
テキスト及び参考書等	適宜資料を配布します。						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			60		
小テスト等	◎	○			10		
宿題・授業外レポート		◎	◎	○	20		
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	肢体不自由の実態把握の視点						
第 3 週	肢体不自由者教育における自立活動の内容						
第 4 週	肢体不自由者教育における自立活動の指導方法						
第 5 週	障害に応じた教育課程の編成						
第 6 週	肢体不自由者の教育の場とそこでの教育内容						
第 7 週	特別支援学校における教育の取り組みの実際（小・中学部）						
第 8 週	特別支援学校における教育の取り組みの実際（高学部）						
第 9 週	特別支援学校における指導上の工夫（小・中学部）						
第 10 週	特別支援学校における指導上の工夫（高学部）						
第 11 週	教育機器の利用法の理論						
第 12 週	教育機器の利用法の実際の取り組み						
第 13 週	肢体不自由者の職業教育の理論と実際						
第 14 週	肢体不自由者の進路指導の理論と実際						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	受講にあたっては「肢体不自由教育（２年次後期）」の単位を取得していること。 通常の授業時間以外に学内および学外における動作法の実践活動の見学や参加を行うことがある。 学内および学外の動作法の実践活動の日程によって上記のスケジュールは変わることがある。						